

公益社団法人日本スカッシュ協会平成 25 年度定期社員総会報告

公益社団法人日本スカッシュ協会

平成 25 年 6 月 22 日、公益社団法人日本スカッシュ協会平成 25 年度定期社員総会が大根田電機株式会社社会議室にて開催されました。全国の正会員が出席して以下の議案が検討され全て可決されましたのでご報告致します。

2020 年オリンピック競技入りの実現を目指して日本のスカッシュの気運も高まっておりますので、皆様の尚一層のご協力をお願い致します。

第 1 号議案 平成 24 年度事業報告並びに財務諸表承認

第 2 号議案 平成 25 年度役員の一部変更承認

<報告事項>

- 1、平成 24 年度アクションプラン活動報告
- 2、平成 25 年度事業計画並びに予算の報告
- 3、平成 25 年度正会員・顧問・運営委員・大会委員会担当者等の報告
- 4、「国立競技場にスカッシュコートを！」請願署名活動報告
- 5、第 42 回全日本スカッシュ選手権大会についての現状報告
- 6、アジアスカッシュ連盟総会報告
- 7、2020 年オリンピック最終候補競技入りについて
- 8、暴力根絶プロジェクトチームについて

平成 24 年度 事業報告

公益社団法人日本スカッシュ協会

(1) スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等

日程：<スカッシュデー>平成 25 年 2 月 11 日

<スカッシュウィーク>平成 25 年 2 月 9 日～24 日

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等

目的：スカッシュの楽しさをより多くの方々に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする。

対象：一般の方、どなたでも。

参加：9 施設、約 549 名

内容：スカッシュコート無料開放、練習会、ラケットティング大会、無料体験教室、団体戦、スカッシュ大会、ミニレッスン、DVD 撮影、他

② 広報活動

イ) 広報機関誌<SQUASH>の発行 (年 2 回)

Vol. 71 (夏の号) 平成 24 年 7 月 20 日発行

Vol. 72 (冬の号) 平成 25 年 2 月 25 日発行

ロ) 協会ホームページの運営

ハ) Twitter 等での情報発信の実施

ニ) 体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信

③ 大会等のスポンサー対策及び増進

④ 普及渉外委員会の「環境対策委員会」にて、大会等で JSA エコプロジェクトを展開

(2) スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① アクションプラン活動とアクションプラン募金活動

目的：世界に通じる選手の育成と指導者の養成を目的とする。

対象：選手強化活動とコーチ養成の活動を対象とする。

内容：

イ) ナショナル強化プロジェクトチームによる JSA 強化指定選手の選考と強化を図った。

ロ) 全国地区支部や協会の大会等に於ける募金活動 (募金は主に海外遠征等の充実の為に活用)

② ナショナルスカッシュ強化練習会及び合宿の開催

イ) 4 月度ナショナルトレーニング

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：4 月 26 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：A：ゲーム中心の練習

B：ドライブからのアタック、ショートボールからドロップ練習

対象：JSA 強化指定選手

参加人数：7名

成果：世界ジュニアに向けてドライブのレベルアップとフィジカルのビルドアップを図る。

ロ) 5月度ナショナルトレーニング

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：5月17日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：A：世界ジュニア選手強化練習・東アジア代表練習

B：バックコートからのドライブ、ドライブからのボレーアタック

対象：JSA 強化指定選手

参加人数：5名

成果：試合への集中力アップ。

ハ) 6月度ナショナルトレーニング

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：6月21日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：A：フロントからのドライブでプレッシャーをかける。

B：バックコートからのアタックとディフェンス

対象：JSA 強化指定選手

参加人数：3名

成果：ショットと動きの正確性及びショット選択

ニ) 9月度ナショナルトレーニング

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：9月30日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：目的を認識して練習を行う

女子：ドライブとフロントコートへのアタックの安定

男子：ドライブの基本スキルとそれに対する意識の徹底

対象：JSA 強化指定選手

参加人数：5名

成果：女子は練習のテーマを意識した質の高い練習を行えた。

男子は基本練習を中心に行い、後半はテーマを意識した質の高い練習を行えた。

ホ) 日韓合同合宿・インターポートマッチ

主催：(公社) 日本スカッシュ協会&韓国スカッシュ協会共催

日程：平成24年8月1日～5日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

種目：インターポートマッチ

参加：2ヶ国、17名

日本チーム：選手9名、役員2名 計11名

競技結果：日本3－韓国4 敗退

へ) 2012年ジュニアサマーキャンプ報告

主催：(公社)日本スカッシュ協会

日程：8月6・7日

会場：6日 ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

7日 フィットネスハウス パレット中川

目的：ドライブの精度を意識して集中力を保った練習を行う

対象：JSA強化指定選手

参加人数：男子8名、女子4名

成果：練習のクオリティを上げて、選手自身の練習に対する目的意識を高めていくことが練習の成果を得るためのポイントになる。

ト) 西日本地区ジュニア強化合宿実施報告

主催：(公社)日本スカッシュ協会 選手強化委員会

日程：8月11日～12日

会場：(財)倉敷スポーツ公園マスカットスタジアム内スカッシュコート

目的：練習の質を高めていく

対象：JSAジュニア選手

参加人数：8名

成果：技術的な指導や戦術面からの考え方の指導を通して、集中力を保ちベストを尽くす練習をする事の大切さを伝えた。

③ JSA公認レベル1(コーチ)認定講習会と認定試験の開催

主催：(公社)日本スカッシュ協会

日程：12月21日～23日

会場：フィットネスハウスパレット中川

目的：一般的なクラブプレーヤーをコーチングする指導者を育成する。

対象：スカッシュの指導を職業としている者、もしくははしやうとしている者

参加人数：1名、合格

成果：全ての基本ショットの正しいストローク方法やフィーディング(球出し)方法、マンツーマン&グループコーチング、試合開催の組織作り、基本戦術とルール、レフリー・マーカールの知識等の習得

④ JSA公認普及トレーナー(レベルT)認定講習会と認定試験の開催

主催：(公社)日本スカッシュ協会

日程：平成25年3月24日

会場：コナミスポーツクラブ恵比寿

目的：スカッシュの正しい知識と指導法の体得とさらなる技術向上

対象：スカッシュ初心者レベルでのグループ作り等のサポートが可能な者

参加人数：5名、合格5名

成果：基本知識・基本ショットの正しいストローク方法・レフリー・マーカールの基礎知識等の習得、スカッシュの技術向上

⑤ JSA公認審判講習会と認定試験の開催・支援と公認<2級・3級・4級>

主催：(公社)日本スカッシュ協会及び全国の地区都道府県支部

日程：年10回全国で開催(下表)

目的：レフリー・マーカールの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の

技術向上を目的とする。

対象：4級—一般、ジュニア等のスカッシュ経験が浅い者等。

3級—スカッシュの競技歴が1年以上と認められる者等。

2級—スカッシュの競技歴が3年以上と認められる者等。

参加人数：下表を参照

成果：イ) 講習会：正しいルール、レフリー・マーカのあり方、正しいジャッジ(判断)の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロール方法の学習

ロ) 筆記試験と実技(DVD)：試験の点数により認定の可否を決定

日程	会場	主催・ 主管支 部	受講 者数	受 験 者数	受験結果				備考
					2級 合格	3級 合格	4級 合格	追試	
4月28日	順天堂大学さくらキャンパス	千葉	24	7		1		6	
5月26日	仙台市民会館	東北	12	10	1	1		7	
6月16日	杉並区阿佐ヶ谷地域区民センター	JSA	11	10		3	1	4	
6月24日	サッポロエスキューブ	北海道		4				1	
7月8日	広島市佐伯区民文化センター	中四国	14	17		6		5	
8月12日	大阪市立大学	関西	19	24		2		12	
9月1日	SMBC コンシューマファイナンス	東北		4					追試のみ
2月24日	西宮市中央公民館	関西	29	17		2		6	
3月24日	西宮市中央公民館	関西	19	21	1	2		9	
3月24日	セントラルウエルネス札幌	北海道	5	7	1			6	
		計	133	121	3	17	1	56	

⑥ JSA 承認審判講師スキルアップ研修会

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：7月21日

会場：福岡市「都久志会館」

目的：最新ルールの確認と試験についての統一見解を図った。

対象：JSA レフリー委員及び地区支部又は県支部の承認講師

参加人数：3名

成果：東アジアスカッシュ連盟主催レフリー会議でのフィードバックと最新の国際試合でのレフリング状況の説明を行い、試験問題の見直しや実技(DVD) 試験問題の解答について再見直しを行って統一を図った。

⑦ JSA 審判員スキルアップ研修会

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：7月21日

会場：福岡市「都久志会館」

目的：最新ルールに基づくレフリング状況の説明

対象：JSA 公認審判員

参加人数：10名

成果：レフリングにおける最新ルールの説明と国際試合での状況の説明を行なった。

(3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業

① 協会主催の競技大会

イ) 第23回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会

日程：6月2日、3日

会場：セントラルフィットネスクラブ錦糸町

目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。

対象：23歳未満の男女

参加人数：93名

内容：トーナメント制

競技結果：男子優勝/高見沢勉（スカッシュマジック）
女子優勝/坂井日向子（光丘中学）

ロ) 第26回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会

<ワールドジュニアサーキット(WSF)>

<アジアジュニアスーパーシリーズ(ASF)>

日程：8月3日～5日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9の選手

参加人数：約112名

競技結果：U19男子優勝：Ma Tsz Hei(Hong Kong, China)
U19女子優勝：渡邊聡美（TECNIFIBER）

ハ) 第18回マスターズカーニバル

日程：10月6日7日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：マスターズ層の交流・技術向上

対象：男子オーバー30、40、50、55、60

女子オーバー30、40、45、50、60

トリオマッチ、初心者リーグ

参加予定人数：シングル145名、トリオマッチ32組

競技方式：トーナメント及びリーグ制、トリオマッチ

成果：18回目となり全国からたくさんの方が参加があり交流を図った。

ニ) 文部科学大臣杯争奪第41回全日本スカッシュ選手権大会

<平成24年度スポーツ振興基金・スポーツ振興くじ助成事業>

日程：11月22日～25日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：交流と技術向上及び全日本チャンピオンの決定

対象：選手権/全国選手権上位入賞者及び規定資格保持者、日本国籍を有する者
男女マスターズ/各年齢対象者、日本国籍を有する者

参加人数：237名

競技方式：トーナメント制

競技結果：男子優勝/小林僚生 (Sunset Breeze)

女子優勝/小林海咲 (Sunset Breeze)

ホ) JOC ジュニアオリンピックカップ第 17 回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

日程：平成 25 年 3 月 29 日～31 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム S Q-CUBE

目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9 の選手で、日本国籍を有する者

参加人数：130名

競技方式：トーナメント制

競技結果：男子アンダー19 優勝/小林僚生 (Sunset Breeze)

女子アンダー19 優勝/杉本梨沙 (近江高校)

② 海外大会日本代表派遣

イ) 第 16 回アジアスカッシュ選手権大会<団体>

<JOC 平成 24 年度 NF 選手強化事業>

日程：5 月 1 日～5 月 5 日

開催地：クウェート

種目：団体戦

参加：男子 15 カ国、女子 8 カ国

日本チーム：選手 8 名、役員 2 名、計 10 名

戦績：男子 6 位、女子 5 位

ロ) ミロ・オールスタージュニア大会

日程：5 月 28 日～6 月 2 日

開催地：マレーシア、ペタリンジャヤ

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

参加：554 名

日本チーム：選手 6 名、役員 1 名 計 7 名

主な戦績：男子アンダー19/小林僚生/優勝

女子アンダー15/渡邊聡美/5 位入賞

ハ) 第 7 回東アジアスカッシュ選手権大会

<JOC 平成 24 年度 NF 選手強化事業>

日程：6 月 8 日～10 日

開催地：香港

種目：男 3 女 2 の混合団体戦

参加：6 ケ国

日本チーム：選手5名、役員1名 計6名
戦績：日本3位入賞

ニ) 香港ジュニアオープン

日程：8月8日～12日
開催地：香港
種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9
参加：13カ国、560名
日本チーム：選手7名、役員1名、計8名
主な戦績：男子アンダー15/机龍之介/4位入賞
女子アンダー15/渡邊聡美/3位入賞

ホ) 第17回男子世界ジュニア選手権/女子世界ジュニア選手権（個人戦のみ）

<JOC平成24年度NF選手強化事業>
日程：7月7日～12日(個人戦)、7月13日～18日(団体戦)
開催地：カタール、ドーハ
種目：個人戦・団体戦
参加：男子21カ国、84名
日本チーム：選手男子/4名、女子/2名 役員2名 計8名
主な戦績：男子団体戦/6位入賞
(選手：小林僚生、海道泰喜、遠藤共峻、机龍之介
監督：佐野公彦)

ヘ) 第18回世界女子団体スカッシュ選手権大会

<JOC平成24年度NF選手強化事業>
日程：11月12日～11月17日
開催地：フランス、ニームス
種目：女子団体戦
参加：26ヶ国
日本チーム：選手4名、役員1名、計5名
主な戦績：団体戦/18位

ト) 第16回アジアジュニアスカッシュ選手権大会

<JOC平成24年度NF選手強化事業>
日程：平成25年2月20日～2月24日
開催地：韓国、ソウル
種目：男女団体戦
参加：男子16カ国、女子9カ国
日本チーム：選手8名、役員3名、計11名
主な戦績：団体戦/ 男子：8位、女子3位入賞

③ 海外派遣承認大会

イ) オーストラリアジュニア大会

日程：4月7日～日

開催地：オーストラリア、キャンベラ
日本チーム：選手1名
主な戦績：男子アンダー19/遠藤共峻/優勝

ロ) ペナンインターナショナルジュニア大会
日程：6月4日～8日
開催地：マレーシア、ペナン
種目：男女アンダー19,17,15,13,11
日本チーム：選手2名
主な戦績：女子アンダー15/渡邊聡美/4位

ハ) ブリティッシュジュニアオープン
日程：平成25年1月2日～6日
開催地：イギリス、シェフィールド
種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9
日本チーム：選手4名
主な戦績：男子アンダー19/小林僚生/18位
女子アンダー15/渡邊聡美/11位

ニ) スコティッシュジュニアオープン
日程：2013年1月7日～9日
開催地：スコットランド、エジンバラ
種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9
主な戦績：男子アンダー19/小林僚生/優勝
女子アンダー15/渡邊聡美/優勝

④ 国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集

目的：ジャパンオープンスカッシュ選手権大会や東アジアスカッシュ選手権大会等、海外選手と対戦する機会を作る事により日本選手の技術の向上を図る。又、国際大会を開催する事により間近で海外トップ選手のプレイを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。

計画：協会創立50周年（平成33年）までに840万円を目標に、今年度は20万の資金を積み立て、協賛企業の協力が得られない状況であっても国際大会の日本開催を実現する。

2014年に東アジアスカッシュ選手権大会の日本開催の準備をした。

(4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動

目的：2014年のアジア競技大会では、より多くの日本人選手が出場できるように努力し、メダル獲得に向けて選手強化を一層充実させた。

対象：男女ナショナルチーム。

種目：男女シングル戦、団体戦

内容：選手強化の為にトレーニングを集中して行った。

- ② オリンピック競技大会での正式競技入り実現の為の推進活動
目的：スカッシュの普及発展の為、WSF（世界スカッシュ連盟）との連携により、IOC（国際オリンピック委員会）並びに開催国スカッシュ協会への2020年オリンピック競技入り要請運動を展開した。
内容：世界70ヶ国800クラブ以上4万人参加のワールドスカッシュデーへの参加協力。（日本からは14クラブ・チームが参加）
ソーシャルネットワークでのスカッシュ支援を呼びかけた。
- ③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動
<平成24年スポーツ振興くじ助成>
目的：（公財）日本ドーピング機構に加盟して、競技会検査及びドーピング防止の為の啓蒙活動を積極的に行う。大会会場にて展示説明コーナーを設置
内容：第41回全日本スカッシュ選手権大会にてドーピング検査の実施
第26回ジャパンジュニアオープンの会場にてドーピングについての説明会を開催
第17回全日本ジュニアの会場にてドーピングについての啓蒙活動を行った。
- ④ 会員募集事業と公認事業制度の運用
目的：個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロード運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図った。但し、平成23年度より大会参加に関しての「スポーツエントリー」の利用は、主催者の判断に委ねた。
世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図った。
又、公認大会の運用（要項、ドロー、結果の確認及び公認）やランキング等の発表を行い、公認大会の全国統一とレベルアップを図った。
- ⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、男女国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整
目的：海外対策委員会を中心に海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行った。
内容：第33回アジアスカッシュ連盟総会（2/24）に出席
笠原会長、潮木、足立、小澤
- ⑥ 全日本学生連盟との連携、強化
目的：前年度に続いて学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達した。又、大会等における協力体制を強化した。
- ⑦ 「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向けた資金及び情報の収集
目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコート为建设しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要。国や自治体の協力を得て

「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力した。

計画：改修予定の国立競技場にスカッシュコートを設置して頂けるように20,123名の署名を集め、25名の国会議員の方々の紹介を得て国会へ請願書を提出した。

⑧ 公益法人としての活動の強化

目的：公益社団法人としての適正な活動を行い、スカッシュの一層の普及振興に努力した。

平成 24 年度会員数&公認数

<個人会員>

() は前年

会員種別	人数
正会員	41 名(61 名)
プロ選手会員	39 名 (50 名)
個人選手会員	647 名(665 名)
ジュニア会員	160 名(123 名)
一般会員	138 名(177 名)
個人後援会員	4 名(4 名)
単発会員	141 名(173 名)
学連会員	615 名(831 名)

個人会員総計名 1,785 名(2,084 名)

<団体会員>

() は前年

会員種別	団体数
団体会員	108(119)
準団体会員	31(35)
クラブチーム会員	21(22)
学連校	38(43)

<個人会員と一般会員の支部別内訳> () は前年

支部名	個人選手会員	一般会員
北海道	38 (34)	9 (11)
東北	72 (52)	20 (26)
埼玉・栃木・群馬・茨城	69 (61)	8 (14)
千葉	46 (54)	4 (11)
東京	133(125)	16 (24)
神奈川	91 (89)	14 (12)
中部	29 (37)	11 (11)
関西	109(158)	16(39)
中国四国	34 (31)	23 (17)
九州	26 (24)	17 (12)

<平成 24 年度公認件数>

コート公認数

2 件

大会公認数(協会主催大会を除く)

48 大会 (オープン 31 U23 1、
マスターズ 1、地区支部クローズ 6、
県支部クローズ 6、学連 3)

ボール公認数

1 件

コーチ公認更新数

27 件

レフリー公認更新数

55 件

(2013.3.31.)

貸借対照表

平成25年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,088,360	6,194,060	-4,105,700
棚卸資産	1,225,210	1,040,225	184,985
前払金	1,103,621	2,742,974	-1,639,353
未収金	1,169,698	1,416,430	-246,732
仮払金	0	51,000	-51,000
流動資産合計	5,586,889	11,444,689	-5,857,800
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	50,454,837	50,454,837	0
基本財産合計	50,454,837	50,454,837	0
(2) 特定資産			
公益事業基金(大会開催)引当預金	5,900,000	5,700,000	200,000
トレセン建設引当預金	4,300,000	4,200,000	100,000
退職給付引当預金	0	1,780,000	-1,780,000
特定資産合計	10,200,000	11,680,000	-1,480,000
(3) その他固定資産			
保証金	200,000	200,000	0
その他固定資産合計	200,000	200,000	0
固定資産合計	60,854,837	62,334,837	-1,480,000
資産合計	66,441,726	73,779,526	-7,337,800
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,022,629	1,097,490	-74,861
前受金	2,235,775	3,617,100	-1,381,325
流動負債合計	3,258,404	4,714,590	-1,456,186
2. 固定負債			
退職給与引当金	0	1,780,000	-1,780,000
固定負債合計	0	1,780,000	-1,780,000
負債合計	3,258,404	6,494,590	-3,236,186
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	63,183,322	67,284,936	-4,101,614
(うち特定資産への充当額)	50,454,837	50,454,837	0
10,200,000	9,900,000	300,000	
正味財産合計	63,183,322	67,284,936	-4,101,614
負債及び正味財産合計	66,441,726	73,779,526	-7,337,800

正味財産増減計算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用利益	13,112	16,603	-3,491
基本財産受取利息	13,112	16,603	-3,491
受取会費	13,326,939	17,206,046	-3,879,107
正会員受取会費	430,500	640,500	-210,000
賛助会員個人受取会費	7,167,009	9,956,446	-2,789,437
賛助会員団体受取会費	2,984,290	3,539,000	-554,710
加算盟認料	640,000	642,500	-2,500
事業収益	2,105,140	2,427,600	-322,460
参加広告収益	15,878,136	15,309,660	568,476
参加委託の成収	6,230,823	7,311,078	-1,080,255
その他収入	2,796,500	2,669,000	127,500
雑収入	1,827,271	2,069,060	-241,789
受取補助金等	4,518,000	2,493,000	2,025,000
受取補助金	505,542	767,522	-261,980
受取補助金	5,293,000	4,160,000	1,133,000
受取補助金	2,253,000	1,115,000	1,138,000
受取補助金	3,040,000	3,045,000	-5,000
受取補助金	104,830	270,699	-165,869
受取補助金	104,830	270,699	-165,869
受取補助金	507,271	162,130	345,141
受取補助金	7,271	2,130	5,141
受取補助金	500,000	160,000	340,000
その他			
経常収益計	35,123,288	37,125,138	-2,001,850
(2) 経常費用			
事業費	24,974,122	25,439,635	-465,513
コパ	1,951,045	1,584,008	367,037
オン	2,498,329	2,421,372	76,957
トフ	1,164,566	873,416	291,150
参加	282,559	207,314	75,245
除通泊送	253,856	284,838	-30,982
滞在	909,749	951,434	-41,685
滞在	937,895	749,825	188,070
滞在	619,436	598,504	20,932
滞在	1,054,891	744,483	310,408
滞在	5,223,948	3,825,272	1,398,676
滞在	1,161,447	2,419,887	-1,258,440
滞在	475,150	325,270	149,880
滞在	1,854,061	1,716,000	138,061
滞在	927	801,860	-800,933
滞在	673,322	193,630	479,692
滞在	103,958	109,830	-5,872
滞在	4,189,865	1,795,017	2,394,848
滞在	135,099	1,909,669	-1,774,570
滞在	122,724	266,046	-143,322
滞在	904,500	2,720,800	-1,816,300
滞在	456,795	941,160	-484,365
滞在	14,250,780	13,142,925	1,107,855
滞在	8,438,694	7,362,685	1,076,009
滞在	347,140	368,260	-21,120
滞在	295,692	338,619	-42,927
滞在	21,000	27,300	-6,300
滞在	259,165	168,281	90,884
滞在	65,235	369,368	-304,133
滞在	215,592	195,508	20,084
滞在	1,464,750	1,320,000	144,750
滞在	1,565,652	1,456,134	109,518
滞在	0	70,800	-70,800
滞在	399,272	374,565	24,707
滞在	150,000	150,000	0
滞在	666,510	315,867	350,643
滞在	72,500	257,800	-185,300
滞在	289,578	367,738	-78,160
経常費用計	39,224,902	38,582,560	642,342
評価損益等調整前当期経常増減額	-4,101,614	-1,457,422	-2,644,192
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-4,101,614	-1,457,422	-2,644,192
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-4,101,614	-1,457,422	-2,644,192
一般正味財産期首残高	67,284,936	68,742,358	-1,457,422
一般正味財産期末残高	63,183,322	67,284,936	-4,101,614
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	63,183,322	67,284,936	-4,101,614

正味財産増減計算書内訳表

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産受取利息	[0]	[0]	[13,112]	[13,112]
基本財産受取利息	[0]	[0]	[13,112]	[13,112]
正職員受取会費	[6,663,470]	[0]	[6,663,469]	[13,326,939]
賛助会費	[215,250]	[0]	[215,250]	[430,500]
賛助会費	[3,583,505]	[0]	[3,583,504]	[7,167,009]
加会費	[1,492,145]	[0]	[1,492,145]	[2,984,290]
公認金料	[320,000]	[0]	[320,000]	[640,000]
事業収益	[1,052,570]	[0]	[1,052,570]	[2,105,140]
参加費	[15,878,136]	[0]	[0]	[15,878,136]
広告知費	[6,230,823]	[0]	[0]	[6,230,823]
委託助成	[2,796,500]	[0]	[0]	[2,796,500]
雑収入	[1,827,271]	[0]	[0]	[1,827,271]
受取補助金	[4,518,000]	[0]	[0]	[4,518,000]
受取補助金	[505,542]	[0]	[0]	[505,542]
受取補助金	[5,293,000]	[0]	[0]	[5,293,000]
受取補助金	[2,253,000]	[0]	[0]	[2,253,000]
受取補助金	[3,040,000]	[0]	[0]	[3,040,000]
受取補助金	[104,830]	[0]	[0]	[104,830]
受取補助金	[104,830]	[0]	[0]	[104,830]
受取補助金	[0]	[0]	[507,271]	[507,271]
受取補助金	[0]	[0]	[7,271]	[7,271]
受取補助金	[0]	[0]	[500,000]	[500,000]
経常収益計	27,939,436	0	7,183,852	35,123,288
(2) 経常費用				
事務費	[24,974,122]	[0]	[0]	[24,974,122]
コピー	[1,951,045]	[0]	[0]	[1,951,045]
パソコン	[2,498,329]	[0]	[0]	[2,498,329]
参加費	[1,164,566]	[0]	[0]	[1,164,566]
保険	[282,559]	[0]	[0]	[282,559]
宿泊	[253,856]	[0]	[0]	[253,856]
郵便	[909,749]	[0]	[0]	[909,749]
雑費	[937,895]	[0]	[0]	[937,895]
渡送	[619,436]	[0]	[0]	[619,436]
滞航	[1,054,891]	[0]	[0]	[1,054,891]
滞在	[5,223,948]	[0]	[0]	[5,223,948]
国内	[1,161,447]	[0]	[0]	[1,161,447]
謝辞	[475,150]	[0]	[0]	[475,150]
借入金	[1,854,061]	[0]	[0]	[1,854,061]
消耗品	[927]	[0]	[0]	[927]
通信	[673,322]	[0]	[0]	[673,322]
雑費	[103,958]	[0]	[0]	[103,958]
対外	[4,189,865]	[0]	[0]	[4,189,865]
給付	[135,099]	[0]	[0]	[135,099]
雑費	[122,724]	[0]	[0]	[122,724]
管理	[904,500]	[0]	[0]	[904,500]
給付	[456,795]	[0]	[0]	[456,795]
旅費	[10,132,038]	[0]	[4,118,742]	[14,250,780]
通信	[6,750,956]	[0]	[1,687,738]	[8,438,694]
消耗品	[277,712]	[0]	[69,428]	[347,140]
印刷	[236,554]	[0]	[59,138]	[295,692]
光熱	[10,500]	[0]	[10,500]	[21,000]
賃借	[207,332]	[0]	[51,833]	[259,165]
社費	[52,188]	[0]	[13,047]	[65,235]
公費	[172,474]	[0]	[43,118]	[215,592]
公益	[1,171,800]	[0]	[292,950]	[1,464,750]
公益	[1,252,522]	[0]	[313,130]	[1,565,652]
公益	[0]	[0]	[399,272]	[399,272]
公益	[0]	[0]	[150,000]	[150,000]
公益	[0]	[0]	[666,510]	[666,510]
公益	[0]	[0]	[72,500]	[72,500]
公益	[0]	[0]	[289,578]	[289,578]
経常費用計	35,106,160	0	4,118,742	39,224,902
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,166,724	0	3,065,110	△ 4,101,614
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,166,724	0	3,065,110	△ 4,101,614
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,166,724	0	3,065,110	△ 4,101,614
一般正味財産期首残高				67,284,936
一般正味財産期末残高				63,183,322
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				63,183,322

財産目録

平成25年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	47,560
		普通預金		551,358
		三菱東京UFJ銀行	運転資金として	46,035
		神田支店		
		三菱東京UFJ銀行	運転資金として	3,022
		神田駅前支店		
		三井住友銀行	運転資金として	3,079
		神田支店		
		みずほ銀行	運転資金として	2,224
		神田支店		
		りそな銀行	運転資金として	48,470
		神田支店		
		シティーバンク	運転資金として	365,454
		大手町支店		
		シティーバンク	運転資金として (外貨)	56,047
		大手町支店		
		朝日信用金庫	運転資金として	15,245
		湯島支店		
		ゆうちょ銀行	運転資金として	11,782
		神田局		
		定期預金		1,489,442
		三菱東京UFJ銀行	運転資金として	98,228
		神田駅前支店		
		三井住友銀行	運転資金として	98,228
		神田支店		
		みずほ銀行	運転資金として	98,228
		神田支店		
りそな銀行	運転資金として	92,618		
神田支店				
朝日信用金庫	運転資金として	1,077,156		
湯島支店				
シティーバンク	運転資金として	20,989		
大手町支店				
三菱東京UFJ銀行	運転資金として	3,995		
神田支店				
棚卸資産	手元保管	公益目的事業分 (本・ビデオ) 法人会計分 (切手) として	1,225,210	
前払金			1,103,621	
翌年度事業分	参加費等	公益目的事業前払分として	1,103,621	
未収金			1,169,698	
その他	JOC補助金・会費等	公益事業目的未収分として	1,169,698	
流動資産合計			5,586,889	
(固定資産)	基本財産	定期預金		50,454,837
		三菱東京UFJ銀行	公益目的事業の不可欠特定財産	50,454,837
		神田支店	運用益を管理費の財源に充当	5,102,860
		三菱UFJ銀行	公益目的事業の不可欠特定財産	9,006,301
		神田駅前支店	運用益を管理費の財源に充当	9,006,301
		三井住友銀行	公益目的事業の不可欠特定財産	9,006,301
		神田支店	運用益を管理費に財源に充当	9,006,301
		みずほ銀行	公益目的事業の不可欠特定財産	9,006,301
		神田支店	運用益を管理費の財源に充当	8,309,208
		りそな銀行	公益目的事業の不可欠特定財産	8,309,208
		神田支店	運用益を管理費の財源に充当	2,020,024
		シティーバンク	公益目的事業の不可欠特定財産	2,020,024
		大手町支店	運用益を管理費の財源に充当	8,003,842
		朝日信用金庫	公益目的事業の不可欠特定財産	8,003,842
湯島支店	運用益を管理費の財源に充当	10,200,000		
特定資産	公益事業基金 (大会開催) 引当預金	公益事業基金 (大会開催)	5,900,000	
	朝日信用金庫	特定費用準備資金として	1,750,000	
	湯島支店			

その他固定資産	トレセン建設 引当預金	ゆうちょ銀行 神田局	特定費用準備資金として	100,000
		りそな銀行 神田支店	特定費用準備資金として	1,950,000
		みずほ銀行 神田支店	特定費用準備資金として	2,050,000
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	特定費用準備資金として	50,000
			トレセン建設	4,300,000
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	公益目的事業分として	2,500,000
		朝日信用金庫 湯島支店	公益目的事業分として	1,800,000
		保証金	事務所保証金	200,000 公益目的保有財産として(20%) 公益目的事業の不可欠特定財産
固定資産合計				60,854,837
資産合計				66,441,726
(流動負債)	未払金	3月分給料 大会経費 その他	法人会計・管理費分の未払とし	1,022,629
			公益目的事業分の未払として	440,218
	前受金	次年度会費	法人会計・管理費分の未払とし	370,920
			公益事業分の前受として	211,491
流動負債合計				2,235,775
負債合計				2,235,775
正味財産				3,258,404
				3,258,404
				63,183,322

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
委託金						
選手強化NF事業補助金	日本オリンピック委員会	0	4,518,000	4,518,000	0	—
小計		0	4,518,000	4,518,000	0	
助成金						
スポーツ振興基金助成金	日本スポーツ振興センター	0	2,350,000	2,350,000	0	—
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	690,000	690,000	0	—
小計		0	3,040,000	3,040,000	0	
交付金						
選手強化交付金	日本オリンピック委員会	0	2,253,000	2,253,000	0	—
小計		0	2,253,000	2,253,000	0	
合計		0	9,811,000	9,811,000	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」の「2.基本財産及び特定資産の増減額及び残高」に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,780,000	-	1,780,000	-	-

独立監査人の監査報告書

平成25年5月20日

公益社団法人日本スカッシュ協会
会長 笠原 一也 殿

十川公認会計士事務所
公認会計士



<財務諸表監査>

私は、貴社団法人の委嘱に基づき、公益社団法人日本スカッシュ協会の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの平成24年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これは、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、貴社団法人の委嘱に基づき、公益社団法人日本スカッシュ協会の平成25年3月31日現在の平成24年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「使用目的等」及び「金額」の欄に限る）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益社団法人日本スカッシュ協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

平成 25 年 5 月 20 日

公益社団法人日本スカッシュ協会
会長 笠原 一也 殿

公益社団法人 日本スカッシュ協会

監事 友清 敏和 

監事 山岸 和彦 

私たち監事は、公益社団法人日本スカッシュ協会の平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その結果を次のとおり報告いたします。

1. 監査方法及びその内容

- (1) 理事の職務並びに事業報告及びその附属明細書の監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧その他必要と思われる監査手続きを実施して、理事の職務の遂行並びに事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討しました。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査については、独立監査人から監査実施状況及び結果について報告を受け、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書に関する監査結果
事業報告及び附属明細書は、法令又は定款に従い当法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関する監査結果
当法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。また、独立監査人の監査方法及び結果は、相当であると認めます。

以上

平成 24 年度アクションプラン活動等報告

公益社団法人日本スカッシュ協会 選手強化委員会

公益社団法人日本スカッシュ協会のアクションプラン活動等にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。世界に通用する日本のスカッシュ選手の育成強化とコーチ養成を目指すアクションプランは、皆様のご支援ご協力により育まれています。ここに、平成 24 年度の主な関連活動内容をご報告致します。2020 年のオリンピック最終候補入りして益々選手強化が必要となってまいりますので、今後共より一層のご支援ご協力を賜りますように切にお願い申し上げます。

項目	収入		支出	備考
	(寄付補助金)	(参加費等)		
アクションプラン募金	99,830	0	0	
JOC強化交付金	2,053,000	0	0	
JOC委託事業 ※表 1	4,518,000	287,780	7,186,509	アジア団体・東アジア・ 世界ジュニア・女子世界・ アジアジュニア団体
選手強化委員会(シニア)	0	0	744,596	日韓合宿・インターポートマツ チ・他シニア
選手強化委員会(ジュニア)	0	1,233,521	2,426,479	香港ジュニア・合宿・サマーキ ャンプ・選考会・海外ジュニア OP・他
ナショナルトレーニング募金	5,000	0	32,262	NTトレーニング
計	6,675,830	1,521,301	10,389,846	
総計		総収入	総支出	差引差額
		8,197,131	10,389,846	△2,192,715

* 委託事業対象外経費一部含む

＊ 表1 JOC委託事業

(対象経費の2/3がJOC補助、残1/3と対象外経費その他がJSA負担。但しJOC補助金上限あり)

支出

項目	渡航費	滞在費	交通費	謝金	借損料	通信費	保険代・雑役務	対象外*	計
アジア選手権団体戦	1780600	303228	201250	160000	0	0	41100 400	59800	2546378
東アジア選手権	307800	0	48340	50000	0	2780	14640 2767	2202	428529
世界ジュニア	1130400	190141	51900	200000	927	590	46090 466482	29275	2115805
女子世界団体戦	523200	26502	16560	90000	0	790	18760 408532	22311	1106655
アジアジュニア団体戦	393200	0	30000	179580	0	590	32630 348880	4262	989142
計	4135200	519871	348050	679580	927	4750	1380281	117850	7186509

<内、JOC委託金 4,518,000円>

◆ その他、選手強化委員会海外遠征等（JSA負担）

項目	収入	支出
日韓合宿	0	728846
NTトレーニング・インターポート・他	0	48012
マレーシアジュニア遠征	408040	793401
香港ジュニアオープン	302880	770864
合宿・サマーキャンプ・選考会・他	522601	862214
計	1233521	3203337

平成 25 年度 事業計画

公益社団法人日本スカッシュ協会

(1) スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等

日程：<スカッシュデー>平成 26 年 2 月 11 日

<スカッシュウィーク>平成 26 年 2 月 8 日～23 日 (予定)

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等

目的：スカッシュの楽しさをより多くの方々に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする。

対象：一般の方、どなたでも。

参加予定人数：約 2,000 名

内容：スカッシュ体験会、試打会、ヒッティングパートナー、コーチング、レンタル無料デー、スカッシュ大会、3/4 ゲーム大会等

② 広報活動

イ) 広報機関誌<SQUASH>の発行 (年 2 回を予定)

Vol. 73 (夏の号) 7 月発行予定

Vol. 74 (冬の号) 平成 26 年 2 月発行予定

ロ) 協会ホームページの運営

ハ) 携帯メールによる情報の発信の実施

ニ) 体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信

③ 大会等のスポンサー対策及び増進

④ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクトを推進する

(2) スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① アクションプラン活動とアクションプラン募金活動

目的：世界に通じる選手の育成と指導者の養成を目的とする。

対象：選手強化活動とコーチ養成の活動を対象とする。

内容：

イ) ナショナル強化プロジェクトチームによる JSA 強化指定選手の選考と強化を図った。

ロ) 全国地区支部や協会の大会等に於ける募金活動 (募金は主に海外遠征等の充実の為に活用)

② JSA 公認レベル T (普及トレーナー) 及びレベル 1 (コーチ) 認定講習会と認定試験の開催・公認とワークショップの開催

主催：(公社) 日本スカッシュ協会、団体会員及び地区都道府県支部

日程：年 1～3 回開催予定

会場：未定

目的：スカッシュの正しい知識と指導法を体得し、スカッシュの一層の技術向上を

図る。

対象：レベルT—スカッシュの初心者レベルでのグループ作り等のサポートが出来る方

レベル1—一般的なクラブプレイヤーをコーチングする指導者。

参加予定人数：各回10名前後を予定

内容：レベルT—基本知識と基本ショットの正しいストローク方法、レフリー・マーカの基本知識等。

レベル1—全ての基本ショットの正しいストローク方法やフィーディング（球出し）方法、マンツーマン&グループコーチング、試合開催の組織作り、基本戦術とルール、レフリー・マーカーの知識等

③ JS A公認審判講習会と認定試験の開催・支援と公認<2級・3級・4級>

主催：（公社）日本スカッシュ協会及び全国の地区都道府県支部

日程：全国にて年10回程度開催予定

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート又は地域公共施設

目的：レフリー・マーカーの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の技術向上を目的とする。

対象：4級—一般、ジュニア等のスカッシュ経験が浅い者等。

3級—スカッシュの競技歴が1年以上と認められる者等。

2級—スカッシュの競技歴が3年以上と認められる者等。

参加予定人数：各回10～30名前後を予定

内容：講習会にて、正しいルールやレフリー・マーカーのあり方、正しいジャッジ（判断）の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロールについて学び、筆記試験と実技（DVD）試験の点数により認定の合否が決められる。

④ 東アジアレフリー会議への参加

主催：東アジアスカッシュ連盟

日程：7月9日～10日

開催地：中国・天津

内容：会議、団体戦のレフリング

⑤ ナショナルスカッシュ強化練習会及び合宿の開催

主催：（公社）日本スカッシュ協会

日程：<ナショナルトレーニング>月3回程度年間を通して実施予定

<特別ジュニア夏季合宿>8月5・6日に予定

<西日本ジュニア強化合宿>5月初旬に予定

会場：ヨコハマ SQ-CUBE、マスカット、等

目的：アジア競技大会・東アジア競技大会等においてメダルを獲得する事を目標に、技術力の向上とフィジカルの強化等を目的とする。

対象：ナショナルチームの選手、選手強化対象選手、ジュニア選手に一般の選手もプラスした幅広いプレイヤーを対象とした中から卓越した才能を発掘し育成強化を目指す。

参加予定人数：各回6～20名前後を予定

内容：フィジカルチェック、コンディショニングゲーム、フィジカルトレーニング、基本ショット及び戦術練習、ゲーム練習、等。

⑥ 日韓合同スカッシュ交流事業

主催：(公社) 日本スカッシュ協会&韓国スカッシュ協会共催

日程：9月3日～8日

会場：韓国

目的：日韓両国の交流及びスカッシュの技術向上を図る事を目的に、毎年日本と韓国を交互に開催地として実施している。

対象：<ジュニア>日韓両国のジュニアトップ選手

<シニア>日韓両国のナショナルトップ選手

参加予定人数：各国10名前後

内容：日韓合同練習・トレーニング、テストマッチ、インターポートマッチ、親善交換会

(3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業

① 協会主催の競技大会 ※日程、会場等は予定

イ) 第24回全日本アンダー23スカッシュ選手権大会

日程：6月1日・2日

会場：さいたまエスキューブ

目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。

対象：23歳未満の男女

参加予定人数：約100名

内容：トーナメント制

ロ) 第27回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会

<ワールドジュニアサーキット(WSF)>

<アジアジュニアスーパーシリーズ(ASF)>

日程：8月2日～4日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9の選手

参加予定人数：約100名

内容：トーナメント制

ハ) 第19回マスターズカーニバル

日程：10月上旬

会場：未定

目的：マスターズの年代のスカッシュ愛好家による親睦を図り、スカッシュの試合を通じた楽しい仲間作りを目的とする。

対象：男女オーバー30、40、50、60（初心者～ベテラン）

参加予定人数：約200名

内容：トーナメント及びリーグ制

ニ) 文部科学大臣杯争奪第 42 回全日本スカッシュ選手権大会 (冠は予定)

<平成 25 年度スポーツ振興基金助成予定>

日程：11 月 21 日～24 日

会場：倉敷マスカットスタジアム

目的：全国で開催された公認大会において上位の成績を収めた選手達により、日本チャンピオンの座を競う国内最高峰の大会。日本全国のトップ選手の交流と一層の技術向上を目的とする。

対象：全国の公認大会における上位入賞者で、日本国籍を有する者、及び男女マスターズ

参加予定人数：約 200 名

内容：トーナメント制

ホ) JOC ジュニアオリンピックカップ第 18 回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会 (冠は予定)

日程：平成 26 年 3 月下旬

会場：未定

目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9 の選手で、日本国籍を有する者

参加予定人数：約 150 名

内容：トーナメント制

② 海外大会日本代表派遣(予定)

イ) ミロ・オールスタージュニア大会

日程：5 月 28 日～6 月 2 日

開催地：マレーシア・ペタリンジャヤ

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

ロ) 男子世界スカッシュ選手権大会 (団体戦)

日程：6 月 9 日～15 日

開催地：フランス・ミュルーズ

種目：団体戦

ハ) アジアジュニア個人選手権大会

日程：6 月 25 日～6 月 29 日

開催地：ヨルダン・アンマン

種目：男女アンダー19,17,15,13

ニ) 東アジアスカッシュ選手権大会

日程：7 月 12 日～14 日

開催地：中国・天津

種目：団体戦

ホ) 世界ジュニアスカッシュ選手権大会

日程：7 月 16 日～21 日 (個人) 7 月 22 日～27 日 (団体)

開催地：ポーランド・ヴロツワフ
種目：女子団体戦及び個人戦・男子個人戦

へ) ワールドゲームズ

日程：8月2日～4日
開催地：コロンビア・カリ
種目：男女個人戦

ト) 香港ジュニアオープン

日程：8月7日～8月11日
開催地：香港
種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9

チ) アジアユースゲームズ

日程：8月17日～8月23日
開催地：中国・南京
種目：男子・女子 各団体戦及び個人戦

リ) 第6回東アジア競技大会（JOC派遣）

日程：10月5日～10月10日
開催地：中国・天津
種目：男子・女子 各団体戦及び個人戦

海外派遣承認大会（予定）

イ) ペナンインターナショナルジュニア大会

日程：6月4日～9日
開催地：マレーシア、ペナン
種目：男女アンダー19,17,15,13,11

ロ) ブリティッシュジュニアオープン

日程：平成26年1月上旬
開催地：イギリス
種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9

ハ) スコティッシュジュニアオープン

日程：平成26年1月上旬
開催地：スコットランド
種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9

③ 国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集

目的：東アジアスカッシュ選手権大会等、海外選手と対戦する機会を作る事により日本選手の技術の向上を図る。又、国際大会を開催する事により間近で海外トップ選手のプレイを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。

計画：協会創立50周年（平成33年）までに840万円を目標に、年間20万

から 30 万円の資金を積み立て、協賛企業の協力が得られない状況であっても国際大会の日本開催を実現したい。

2014 年には東アジアスカッシュ選手権大会の日本開催を予定している。

(4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

- ① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動
目的：2014 年のアジア競技大会では、より多くの日本人選手が出場できるように努力し、メダル獲得に向けて選手強化を一層充実させる。
対象：男女ナショナルチーム。
種目：男女シングル戦、団体戦
内容：選手強化の為に合宿を集中して行う。
- ② オリンピック競技大会での正式競技入り実現の為に推進活動
目的：スカッシュの普及発展の為に、WSF（世界スカッシュ連盟）との連携により、IOC（国際オリンピック委員会）並びに開催国スカッシュ協会への 2020 年オリンピック競技入り要請運動を展開する。
内容：5 月 29 日の IOC 理事会においてスカッシュは最終候補入りを果たした。9 月 8 日の最終決定に向けてのアピールに協力を要請する。
- ③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動
<平成 25 年スポーツ振興くじ助成申請>
目的：(公財) 日本ドーピング機構に加盟して、競技会検査及びドーピング防止の為に啓蒙活動を積極的に行う。大会会場にて展示説明コーナーを設置。
- ④ 会員募集事業と公認事業制度の運用
目的：*個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は(株)アプロード運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図る。但し、平成 23 年度より大会参加に関しての「スポーツエントリー」の利用は、主催者の判断に委ねている。
*世界スカッシュ連盟 (WSF) の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図る。
*公認大会の運用 (要項、ドロー、結果の確認及び公認) やランキング等の発表を行い、公認大会の全国統一とレベルアップを図る。
- ⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、男女国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整
目的：海外対策委員会を中心に海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行う。
- ⑥ 全日本学生連盟との連携、強化
目的：前年度に続いて学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達する。又、大会等における協力体制を強化する。

⑦ 「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向けた資金及び情報の収集

目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコートを建設しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要。国や自治体の協力を得て「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力する。

計画：国立競技場にスカッシュコートの設置を要望する署名と一緒に、国会議員の方の紹介を得て、衆議院と参議院に請願書を提出済。2020年オリンピック最終候補入りを機に、引き続き実現に向けてアピールを続ける。同時に1億円を目標に、年間10万円から100万円の資金積み立てを行い、不足分は基本財産等にて実現したい。

⑧ 公益法人としての活動の強化

目的：公益社団法人としての適正な活動を行い、スカッシュの一層の普及振興に努力する。

収支予算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用利益	160,000	160,000	0
基本財産受取利息	160,000	160,000	0
正職員受取会費	16,576,600	17,108,150	-531,550
補助職員個人受取会費	430,500	409,500	21,000
プジョー個人単学費	9,782,850	9,703,000	79,850
個別選二会後発連団体受取会費	657,900	516,000	141,900
手ア員援会会費	4,335,500	4,550,000	-214,500
地会地会	415,350	495,000	-79,650
員区員区員員	792,000	704,000	88,000
会会	16,500	33,000	-16,500
会会	380,600	220,000	160,600
会会	3,185,000	3,185,000	0
会会	3,539,000	3,700,000	-161,000
会会	2,342,000	2,335,000	7,000
会会	735,000	735,000	0
会会	462,000	630,000	-168,000
会会	642,500	640,000	2,500
会会	2,181,750	2,655,650	-473,900
会会	52,500	157,500	-105,000
会会	1,533,000	1,890,000	-357,000
会会	157,500	215,000	-57,500
会会	180,000	117,000	63,000
会会	258,750	276,150	-17,400
会会	19,200,309	18,840,304	360,005
会会	8,419,800	9,262,000	-842,200
会会	3,821,000	4,186,500	-365,500
会会	1,979,509	1,941,804	37,705
会会	3,580,000	2,550,000	1,030,000
会会	1,400,000	900,000	500,000
会会	1,000,000	900,000	100,000
会会	400,000	0	400,000
会会	6,943,322	5,830,000	1,113,322
会会	1,500,000	1,565,000	-65,000
会会	1,500,000	1,565,000	-65,000
会会	5,443,322	4,265,000	1,178,322
会会	1,722,322	1,252,000	470,322
会会	3,721,000	3,013,000	708,000
会会	500,000	500,000	0
会会	500,000	500,000	0
会会	500,000	500,000	0
会会	5,000	10,000	-5,000
会会	5,000	5,000	0
会会	0	5,000	-5,000
会会	43,385,231	42,448,454	936,777
(2) 経常費用			
事務費	28,826,731	26,806,781	2,019,950
コバ	1,975,440	2,369,250	-393,810
コバ	2,933,420	3,336,790	-403,370
コバ	1,178,442	1,408,530	-230,088
コバ	539,165	525,615	13,550
コバ	63,800	16,200	47,600
コバ	1,795,800	1,436,470	359,330
コバ	1,111,850	1,949,830	-837,980
コバ	908,740	331,240	577,500
コバ	1,336,237	2,239,669	-903,432
コバ	5,587,460	5,042,500	544,960
コバ	1,862,000	1,772,000	90,000
コバ	0	60,000	-60,000
コバ	2,014,050	1,540,800	473,250
コバ	20,000	0	20,000
コバ	7,907	0	7,907
コバ	525,572	1,341,372	-815,800
コバ	2,466,848	1,040,000	1,426,848
コバ	2,000,000	1,300,000	700,000
コバ	2,000,000	1,300,000	700,000
コバ	2,500,000	1,096,515	1,403,485
コバ	1,000,000	1,096,515	-96,515

管 事 業 関 連 経 費	1,500,000	0	1,500,000
給 退 職 給 付 引 与 当	14,258,500	15,041,673	-783,173
旅 通 信 費 交 運 通 搬 費 費	7,750,000	9,300,000	-1,550,000
郵 宅 電 通 振 送 便 代 代 代 代 料 他	7,750,000	9,000,000	-1,250,000
会 消 耗 什 器 備 品 費 費	0	300,000	-300,000
備 消 耗 品 費 費	500,000	500,000	0
印 光 賃 社 中 小 企 業 保 退 職 金 共 課 出	500,000	500,000	0
租 負 世 界 ア ジ ア リ ン ピ ッ ク 委 員 会 (J O C)	50,000	50,000	0
日 本 ア ン チ ー の 他 連 費 用 用 費	50,000	50,000	0
公 登 雑	100,000	100,000	0
公 益 法 記 人 士 関 連 費 用 用 費	200,000	200,000	0
公 登 雑	200,000	200,000	0
公 登 雑	400,000	133,173	266,827
経 常 費 用 計	43,085,231	41,848,454	1,236,777
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	300,000	600,000	-300,000
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	300,000	600,000	-300,000
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	300,000	600,000	-300,000
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	300,000	600,000	-300,000
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	300,000	600,000	-300,000

収支予算書内訳表

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用利益	[0]	[0]	[160,000]	[160,000]
基本財産受取利息	0	0	160,000	160,000
受取会費	[8,288,300]	[0]	[8,288,300]	16,576,600
正賛助会費	215,250	0	215,250	430,500
正賛助会費	4,891,425	0	4,891,425	9,782,850
加公事業盟認収益	1,769,500	0	1,769,500	3,539,000
加公事業盟認収益	321,250	0	321,250	642,500
加公事業盟認収益	1,090,875	0	1,090,875	2,181,750
参加費	[19,200,309]	[0]	[0]	[19,200,309]
参加費	8,419,800	0	0	8,419,800
参加費	3,821,000	0	0	3,821,000
参加費	1,979,509	0	0	1,979,509
参加費	3,580,000	0	0	3,580,000
参加費	1,400,000	0	0	1,400,000
参加費	[6,943,322]	[0]	[0]	[6,943,322]
参加費	1,500,000	0	0	1,500,000
参加費	5,443,322	0	0	5,443,322
参加費	[500,000]	[0]	[0]	[500,000]
参加費	500,000	0	0	500,000
参加費	[0]	[0]	[5,000]	[5,000]
参加費	0	0	5,000	5,000
参加費	0	0	0	0
参加費	34,931,931	0	8,453,300	43,385,231
(2) 経常費用				
事務費	[28,826,731]	[0]	[0]	[28,826,731]
事務費	1,975,440	0	0	1,975,440
事務費	2,933,420	0	0	2,933,420
事務費	1,178,442	0	0	1,178,442
事務費	539,165	0	0	539,165
事務費	63,800	0	0	63,800
事務費	1,795,800	0	0	1,795,800
事務費	1,111,850	0	0	1,111,850
事務費	908,740	0	0	908,740
事務費	1,336,237	0	0	1,336,237
事務費	5,587,460	0	0	5,587,460
事務費	1,862,000	0	0	1,862,000
事務費	2,014,050	0	0	2,014,050
事務費	20,000	0	0	20,000
事務費	7,907	0	0	7,907
事務費	525,572	0	0	525,572
事務費	2,466,848	0	0	2,466,848
事務費	2,000,000	0	0	2,000,000
事務費	2,500,000	0	0	2,500,000
事務費	[10,427,800]	[0]	[3,830,700]	[14,258,500]
事務費	6,200,000	0	1,550,000	7,750,000
事務費	400,000	0	100,000	500,000
事務費	400,000	0	100,000	500,000
事務費	25,000	0	25,000	50,000
事務費	440,000	0	110,000	550,000
事務費	80,000	0	20,000	100,000
事務費	160,000	0	40,000	200,000
事務費	1,144,000	0	286,000	1,430,000
事務費	1,200,000	0	300,000	1,500,000
事務費	58,800	0	14,700	73,500
事務費	0	0	455,000	455,000
事務費	0	0	200,000	200,000
事務費	0	0	350,000	350,000
事務費	0	0	200,000	200,000
事務費	320,000	0	80,000	400,000
事務費	39,254,531	0	3,830,700	43,085,231
事務費	-4,322,600	0	4,622,600	300,000
事務費	0	0	0	0
事務費	-4,322,600	0	4,622,600	300,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
経常外費用計	-4,322,600	0	4,622,600	300,000
経常外費用計	0	0	0	0
経常外費用計	-4,322,600	0	4,622,600	300,000
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	-4,322,600	0	4,622,600	300,000

平成25年度公益社団法人日本スカッシュ協会役員

役職名	再新任	氏名	職業・委員会・等	任期	常勤・非常勤
理事(会長)	再任	笠原 一也	元国立スポーツ科学センター長 NPO法人 日本オリンピック・アカデミー/会長	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事) (事務局長)	再任	梶田 幸子	総務委員長 (公社)日本スカッシュ協会/事務局長	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	常勤
理事(常務理事)	再任	潮木 仁	選手強化委員長 (株)スポーツステーション・ジン/ 代表取締役社長	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	宮城島 真知子	普及渉外委員長 (有)スカッシュマネジメント/代表取締役社長	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	日向 孝知	規則公認委員長/広報委員長 (株)システナ/金融・基盤システム本部	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	渡邊 祥広	地区対策委員長 T&Wカンパニー(株)/代表取締役	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	大根田 芳浩	競技委員長 大根田電機(株)/代表取締役社長	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	川原 貴	国立スポーツ科学センター/ 統括研究部長	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	グレゴリー・クラーク	多摩大学名誉学長	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	玉利 齊	(財)日本健康スポーツ連盟/理事長	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
理事	新任	三枝 佳紀	セントラルスポーツ(株)/レジャー事業部長	平成25年6月22日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	師岡 文男	国際スポーツ団体総連合前理事/日本ワールドゲームズ協会執行理事/上智大学教授	平成24年6月9日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
監事	在任中	友清 敏和	元持田シーメンスメディカルシステム(株)/ 取締役	平成22年6月26日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤
監事	在任中	山岸 和彦	あさひ法律事務所/弁護士	平成22年6月26日～ 平成26年定時総会終結日	非常勤

現在、役員に報酬・退職金等は支給しておらず、今後も支給する予定はない。

平成25年度公益社団法人日本スカッシュ協会 名誉総裁・名誉会長・顧問

役 職	再新任	氏 名	職業・地区等
名誉総裁		高円宮妃殿下	
名誉会長	再任	猪谷 千春	元国際オリンピック委員会副会長/ NPO法人日本オリンピックアカデミー
顧問	再任	藤ヶ崎 訥美	元(株)三声/代表取締役社長
顧問	再任	臼井 日出男	衆議院議員/元防衛庁長官・元法務大臣
顧問	再任	岩崎 晃	元(株)日本テレビワーク24専務取締役
顧問	再任	齋藤 敏一	(株)ルネサンス 取締役会長
顧問	再任	齋藤 洋介	ワールド通商(株) 会長
顧問	再任	今関 士郎	元(財)千代田生命健康開発事業団 専務理事
顧問	再任	赤木 恭平	(財)全日本ボウリング協会 会長
顧問	再任	鈴木 恒夫	元衆議院議員/元文部科学大臣
顧問	再任	今村 正史	元コーンズドッドウェル(株)監査役
顧問	再任	阿部 一佳	筑波大学名誉教授

平成25年度公益社団法人日本スカッシュ協会 運営委員

役 職	再新任	氏 名	職業・地区等
運営委員	再任	足立 美由紀	会長推薦
運営委員	再任	吉田 尚弘	九州支部
運営委員	再任	出口 陽万	会長推薦
運営委員	再任	柴田 亮介	東北支部
運営委員	再任	芦谷 誠治	中国四国支部
運営委員	再任	國井 正道	中部支部
運営委員	再任	土田 博史	千葉県支部
運営委員	新任	越智 優作	全日本学生連盟委員長
運営委員	再任	丹埜 倫	会長推薦
運営委員	再任	上野 修司	関西支部

平成25年度正会員名簿

25年度(37名)

氏名
小幡 博
鈴木 康之
柴田 亮介
熊田 康宏
大根田 芳浩
笠原 一也
潮木 仁
濱野 昭彦
日向 孝知
古川 泰久
越智 優作
梶田 幸子
土田 博史
田中 新吾
丹埜 倫
宮城島 眞知子
渡邊 祥広
高橋 徹

氏名
町田 信行
岡田 真弥
井上 雅子
國井 正道
松岡 克夫
竹内 敬二
上野 修司
出口 陽万
足立 美由紀
大森 紀人
高木 あきみ
西村 元希
杉本 和子
磯部 拓治
武本 清孝
芦谷 誠治
吉田 尚弘
喜渡 正

平成 25 年度委員会・大会担当者

<委員会>

- 1) 規則公認委員会 委員長/日向
 <海外> 委員長/足立 委員/友清、丹埜、大島、小澤
 <公認> 委員長/日向
- 2) 選手強化委員会 委員長/潮木
 <シニア> 委員長/山崎 委員/足立(ジュニア兼任) 佐野
 <ジュニア> 委員長/佐野 委員/土田 宮城島 小川 芦谷 馬場 貝瀬 島田
 渡邊 松本
 <ナショナルチーム強化プロジェクト> 委員長/佐野 委員/足立、土田、山崎
 <コーチ> 委員長/土田 委員/足立、潮木、佐野
 <学連> 委員長/越智
 <医療サポート> 副委員長/酒井 委員/川原、浅野(雅)、浅野(千)、森田
- 3) 競技委員会 委員長/大根田
 <大会管理> 委員長/潮木 委員/河原、日端
 <レフリー> 委員長/足立 委員/潮木、土田、日向、小幡、柴田、千葉、浅野、
 小川、渡邊、小島、矢野 吉田
 <マスターズ> 委員長/小幡 委員/齋藤
- 4) 総務委員会 委員長/梶田
 <地区対策> 委員長/渡邊 委員/出口、全国地区支部委員
 <広報> 委員長/日向 委員/宮城島、川原
 <財務> 委員長/友清 委員/梶田、小澤
- 5) 普及渉外委員会 委員長/宮城島 委員/潮木、梶田、日向、大根田、渡邊
 <環境対策> J S Aエコプロジェクト 委員長/宮城島

<大会・イベント>

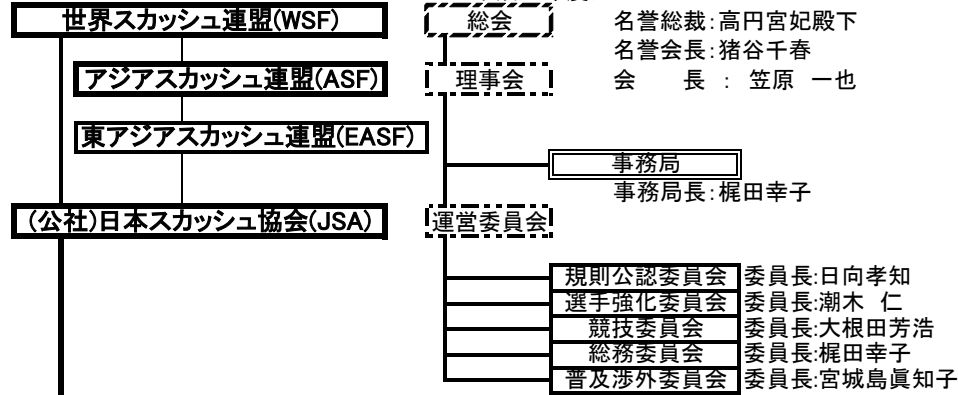
- A) 全日本アンダー23 実行委員長/潮木 副実行委員長/小林(学連)
- B) 全日本ジュニア 実行委員長/小川 副実行委員長/土田、越智(学連) 島田
 委員/宮城島、佐野、渡邊、ジュニア委員
- C) マスターズカーニバル 実行委員長/小幡
- D) 全日本選手権 実行委員長/芦谷 副実行委員/渡邊、実行委員/大根田、
 潮木、小川、宮城島、日向、梶田
- E) ジャパンジュニアオープン 実行委員長/佐野 副実行委員長/足立、小川、
 越智(学連)、島田、委員/土田、宮城島、ジュニア委員
- F) スカッシュデー・スカッシュウィーク 実行委員長/宮城島
 委員/全国地区支部委員

<事務局>

事務局長/梶田 事務局員/吉羽、小澤

公益社団法人日本スカッシュ協会組織図

<平成25年度>



☆正会員 *普及会員

TEL:03-5256-0024 <http://www.squash-japan.org>
 FAX:03-5256-0025 E-mail:squash@japan.email.ne.jp

代表理事: 笠原 一也☆ 顧問(アドバイザー)
 臼井日出男 赤木恭平
 常務理事: 潮木 仁☆ 岩崎 晃 鈴木恒夫
 梶田幸子☆ 齋藤敏一 阿部一佳
 宮城島真知子☆ 齋藤洋介 藤ヶ崎訥美
 日向孝知☆ 今関士郎
 渡邊祥広☆ 今村正史
 大根田芳浩☆ 運営委員:
 足立美由紀☆
 理事: 川原 貴 吉田尚弘☆
 グレゴリー・クラーク 柴田亮介☆
 玉利 齊 芦谷誠治☆
 三枝 佳紀 國井正道☆
 師岡文男 土田博史☆
 監事: 友清敏和 出口陽万☆
 山岸和彦 遠藤嘉雄☆
 丹埜 倫☆
 上野修司☆

